

平成28年度 子ども・子育て支援事業計画 目標事業評価調書(案)

子ども家庭部 子ども子育て支援課・児童センター・子ども家庭支援センター

【調書の進捗状況及び次年度方針の見方】

【評価】

5	施策目標の80%～100%達成
4	施策目標の60%～80%達成
3	施策目標の40%～60%達成
2	施策目標の20%～40%達成
1	施策目標の0%～20%達成

【進捗状況】

A	計画どおり実施済み
B	計画の50～100%未満の実施
C	計画の1～50%未満の実施
D	未実施

【次年度方針】

新規	新規事業の実施
継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

基本 目標	基本 施策	基本目標	施策目標	取組・方針
「子育てって楽しいな！」と思えるまちに				
地域全体で子どもを支える				
		地域全体で子育て家庭を支援する環境づくり	教育・保育の確保	1号認定(幼稚園希望)の確保方策 2号認定(幼児時期の学校教育の利用が強い)の確保方策 2号認定(保育園・認定子ども園希望)の確保方策 3号認定(保育園・認定子ども園希望)の確保方策 3号認定(保育園希望)の確保方策
安心して子育てができる環境づくり				
		多様なニーズに応じた保育サービスや幼児期の学校教育の充実	地域子ども・子育て支援事業	利用者支援 地域子育て支援拠点事業 妊婦健康検査 乳児家庭全戸訪問事業 養育支援訪問事業 子育て短期支援事業(ショートステイ) ファミリー・サポート・センター事業 一時預かり 延長保育事業(時間外保育) 病児・病後保育事業等 放課後児童クラブ 放課後子ども教室 子ども・子育て支援を担う人材の質の確保・向上

基本目標	施策目標	評価	取組・方針	平成28年度実績	進捗状況	平成29年度 事業概要	次年度方針
地域全体で子どもを支える	教育・保育の確保	4	1号認定(幼稚園希望)の確保	幼稚園希望の人数 867人 (内1号認定者数 120人) 確保提供数 1,990人 市内幼稚園定員数 1,990人 幼稚園在園者数 867人 市内幼稚園在園者数 832人 市外幼稚園在園者数 35人 施設型給付施設利用者数 117人	A	市内に私立幼稚園は7園あり、市内でのニーズは十分確保されている。 平成28年度に1園が、幼稚園型認定こども園となったことから、この園は施設型給付を選択することとなった。 今後は新制度に移行を希望する園がスムーズに移行できるように情報提供等事務的なサポートを行っていく。	継続
			2号認定(幼児時期の学校教育の利用が強い)の確保 【3～5歳】	2号認定者数(幼稚園を利用) 0人 確保提供数 360人 幼稚園型一時預かり事業利用者数(延べ) 市内幼稚園 2,817人 市外幼稚園 1,922人 私学助成を利用した預かり保育事業利用者数(延べ) 54,154人	B	幼稚園における長時間預かりのニーズに対応するため、市内の私立幼稚園はこれまで通りの私学助成を利用した預かり保育事業を実施し、施設型給付を選択した認定こども園と市外幼稚園は幼稚園型一時預かり事業を実施した。 平成29年度についても継続して事業を行っていく。	継続
			2号認定(保育園・認定子ども園希望)の確保 【3～5歳】	2号認定者数 704人 確保提供数 798人 市内認可保育園定員数 784人 市内認証保育園定員数 14人 4月1日現在待機児童数 1人	B	平成28年4月1日現在、待機児童は1人出ているものの、定員を下回っている園も複数存在する。 本計画においても、2号認定の確保提供数を拡大する予定はないが、平成29年度に地域型保育事業を2か所で実施するので、その接続として3歳児以降の受け入れを確保できるよう保育の希望を把握していく。	継続

基本目標	施策目標	評価	取組・方針	平成28年度実績	進捗状況	平成29年度 事業概要	次年度方針
地域全体で子どもを支える	(再掲) 教育・保育の確保	(再掲) 4	3号認定(保育園・認定子ども園希望)の確保 【0歳】	3号認定者数 120人 確保提供数 143人 市内認可保育園定員数 138人 市内認証保育園定員数 5人 4月1日現在待機児童数 13人	B	平成28年4月1日現在、待機児童は13人であった。 定員を下回っている園も複数存在したが、7月で定員がほぼいっぱいとなりその後は待機児童が毎月増加した。	充実
			3号認定(保育園・認定子ども園希望)の確保 【1～2歳】	3号認定者数 474人 確保提供数 500人 市内認可保育園定員数 481人 市内認証保育園定員数 19人 4月1日現在待機児童数 30人			
安心して子育てができる環境づくり	(再掲) 地域子ども・子育て支援事業	(再掲) 4	利用者支援	子育て支援課、子ども家庭支援センターにおいて、それぞれの事業の担当者が窓口において、子育てに係わる必要な情報提供や相談を丁寧に行った。 子ども家庭支援センター 相談件数 175件 217回	C	教育・保育施設や地域の子ども・子育て支援事業などの情報提供及び必要に応じて相談・助言などを行うとともに、関係機関との連絡調整を行う。	充実
			地域子育て支援拠点事業	ニーズ量 8,871(人回) 提供量 73,845(人回) 延広場事業利用者数 73,845人 つどいの広場 71,930人 私立保育園 941人 公立保育園 974人			

基本目標	施策目標	評価	取組・方針	平成28年度実績	進捗状況	平成29年度 事業概要	次年度方針
安心して子育てができる環境づくり	(再掲) 地域子ども・子育て支援事業	(再掲) 4	妊婦健康検査	妊娠届出数 572件 受診件数 6,381件	B	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する。 妊婦全員に妊婦健診を受診していただくよう、妊婦健診の重要性と妊娠届の早期提出の必要性を啓発していく。	充実
			乳児家庭全戸訪問事業	訪問件数 568件 新生児訪問指導事業 363件 母子保健推進活動 205件	B	生後4か月までの乳児の居るすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い、必要なサービスにつなげる。 乳児家庭全戸を訪問することを目標に関係機関と連携を取りながら保健師等専門職による訪問を継続していく。	充実
			養育支援訪問事業	訪問回数 661回 専門的相談支援 120件 478回 育児・家事援助 75件 183回	A	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、適切な養育の実施を確保する。 特に支援が必要と判断された家庭に対しては、派遣回数を増加し、よりきめ細やかな支援体制を確保する。	継続
			子育て短期支援事業(ショートステイ)	ニーズ量 65日 提供量 365日 延べ利用者数 102人 延べ利用日数 227日	A	保護者が病気、入院、出産、冠婚葬祭などの理由により児童の育成が困難になった場合に、児童養護施設などにおいて養育・保護を行う。 現状において十分な提供量を確保している。他のサービスでは代替が困難な事業であるため今後もこの事業を維持していく。	継続

基本目標	施策目標	評価	取組・方針	平成28年度実績	進捗状況	平成29年度 事業概要	次年度方針
安心して子育てができる環境づくり	(再掲) 地域子ども・子育て支援事業	(再掲) 4	ファミリー・サポート・センター事業	ニーズ量 497人日 提供量 4,097人 依頼会員数 1,626人 提供会員数 210人 両方会員数 51人 延べ利用者数 4,097人	A	児童の預かりなどの援助を受けることを希望する人(依頼会員)と援助を行うことを希望する人(提供会員)の相互援助活動に関する連絡・調整を行う。 現状において十分な提供量を確保しているので今後もこの事業を維持していく。	継続
			一時預かり	【幼稚園在園児を対象とした一時預かり】 ニーズ量 33,419人日 提供量 33,600人日 私学助成を利用した預かり保育事業利用者数(延べ) 50,825人 【幼稚園在園児を対象とした一時預かり以外】 * 保育園、ファミリーサポート等 ニーズ量 9,136人日 提供数 23,047人日 延べ一時保育利用者数 6,686人 認可保育所 1,947人 認可保育所外 4,739人	B	【幼稚園在園児を対象とした一時預かり】 保護者のニーズに応えるため在園児を標準的な教育時間を越えて、一時的に預かる。新制度である施設型給付に移行した幼稚園には幼稚園型一時預かり事業を実施していく。 新制度に移行しない幼稚園はこれまで通りの私学助成を利用した預かり保育事業を実施し幼稚園での長時間の預かりを受け入れていく。 【幼稚園在園児を対象とした一時預かり以外】 在宅で保育をしている保護者が一時的に保育ができなくなった場合のニーズに応じて一時的に預かる。 現状においてニーズ量への提供量を確保しているので今後も事業を維持していく。	継続
			延長保育事業(時間外保育)	ニーズ量 437人 提供量(定員数) 1,403人 延べ利用者数 45,990人 実施園数 15園中15園	B	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において保育園等で保育を実施する。 現在市内の全認可保育園において延長保育を実施しているので、この状態を維持していく。 引き続き利用者のニーズに応えながら、適切な提供体制を図る。	継続

基本目標	施策目標	評価	取組・方針	平成28年度実績	進捗状況	平成29年度 事業概要	次年度方針
安心して子育てができる環境づくり	(再掲) 地域子ども・子育て支援事業	(再掲) 4	病児・病後保育事業等	<p>ニーズ量 1,198人日 提供量 2,502人日</p> <p>延べ利用者数 342人 施設型 病児 307人 (定員6人 開所日数255日) 病後児 35人 (定員4人 開所日数243日) 訪問型 52人</p>	B	<p>児童が乳熱等の急病を訴えた場合、病院・保育園等に付設された専用スペース等において、保育士、看護師等が一時的に保育する。</p> <p>現状において必要な提供数を確保しており、利用者がいない時には、児童の病状についてなどの情報を保育関連機関へ発信する活動を行い、市内保育施設での保育の質の向上に寄与すると共に、サービス提供の周知の強化を図っていく。また、病児保育室「チルチルミチル」では、市内保育所に於いて児童が発病した際に、就労中の保護者に代わって児童を保育所まで迎えに行く「送迎サービス」を実施する。</p>	充実
			放課後児童クラブ	<p>ニーズ量 低学年408人 高学年389人 提供量 低学年632人 高学年 0人</p> <p>待機児童数 5人1学校区</p>	C	<p>共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後、学校の余裕教室などにおいて適切な遊びや生活の場を与え、その健全育成を図る。</p> <p>平成28年度に既存の学童クラブを増築し、待機児童の解消を図った。</p> <p>空き定員のある学童クラブでの高学年の受け入れについて、平成30年度からの実施に向けて、環境整備及び指導員の研修を行う。</p> <p>放課後子ども教室(まなべー)及び児童館など他の事業との連携強化にむけての検討を継続して行う。</p> <p>障がい児の受け入れ体制について、継続して充実を図っていく。</p> <p>平成28年度から学童クラブの児童の降所見守り事業を11月から実施。児童及び保護者の安心・安全を図る。</p>	充実

基本目標	施策目標	評価	取組・方針	平成28年度実績	進捗状況	平成29年度 事業概要	次年度方針
安心して子育てができる環境づくり	(再掲) 地域子ども・子育て支援事業	(再掲) 4	放課後子ども教室	全9校で実施 平成28年度 登録者数 932人 参加者数(延べ) 22,608人	B	小学校の余裕教室等を借用して開催している事業であり、学校の管理上の問題等から休業中の開催は困難な状況である。 小学1年生の受け入れの時期については、平成29年度も継続して6月より行う。	継続
			子ども・子育て支援を担う人材の質の確保・向上	幼稚園教諭、保育士など、子どもの育ちを支援する者の専門性の向上を図るため、研修の実施した。 平成28年度は東京都立小児総合医療センターの協力のもと、認可保育園の保育士に対して子どもの発達に重点をおいた研修を東村山市と合同で実施した。	B	幼稚園教諭、保育士など、子どもの育ちを支援する者の専門性の向上を図るため、研修の実施や支援を行う。 平成29年度は東京都立小児総合医療センターの協力のもと、認可保育園の保育士だけではなく、新たに幼稚園の教諭を含めた形で子どもの発達に重点をおいた研修を東村山市と合同で実施する。	継続